

目次

Chapitres tournés en tous sens

Contents

コラム 論文の歴史

008

第一章

おしやべり女

Celle qui parle trop

015

島弧西部大都市において特異的にみられる奇習

「繰り返し」をぶ潰けいかかどす「ゲーム」は戦略的行動か？——解析およびその意義の検証

038

第二章

大きな石を運ぶ男

Le porteur de grosses pierres

045

経済学者は猫よりも合理的なのか？——反据え膳行動を通して判明したもつとも合理的な生物とは

055

第三章

閉じこめられた者たちの嘆き(ヨナやピノキオ)

Regrêts des enfermés (Jonas et Pinochio)

073

「借りた本に線を引くひと」とはどんなひとか

「書きこみされた図書館蔵書における網羅的研究からこころみた人物プロフィールング

086

図書館所蔵の推理小説に「犯人こいつHealdone!!」と書きこむひととはどんなひとか

「書きこみされた図書館蔵書における網羅的研究からこころみた人物プロフィールング・II

092

第四章

悪意のあるじやまもの

Obstacles venimeux

115

コラム 研究費の歴史、あるいは研究者の懐事情の歴史

116

おやじギャグの社会行動学的意義・その数理解析

135

比較生物学から導かれる無毛と長寿との関係——はげは長生き?

141

「ねえ、太った？」は存在証明機会——代数的構造抽出による容姿からかい行動対応策の検討

145

第五章

朝の薄明

Crepuscule matinal

163

経験則「あらゆる機械は修理を依頼した直後になる」現象の検証——機械故障にかんする大規模調査

188

プラス思考はほんとうにプラスか——恋愛成功率におけるプラス思考とマイナス思考の効果の比較

192

「目標は紙に書く」と実現する「はほんとうか——大規模長期縦断研究による検証

198

「あくびはうつる」を応用する——あくび伝染反応時間による初対面好感度の類推……………202

第六章

花崗岩でできた狂乱……………211

Atfoulements Prantiques

架空論文投稿実験——その顛末と、研究世界の未来にたいする提言……………215

終章

いつも片目をあけて眠るよく肥った猿の王さまを……………235

目覚めさせるためのファンファーレ……………235

Sonnerie pour reveiller le roi des singes

あとがきにかえて——この本ができるまでの舞台裏を少々……………243

架空論文・初出一覧……………250

研究者心理におけるパーキンソンの法則——メタ研究心理学者・ユーリー小松崎の事件簿……………252

• いまを去ること数年前。学術論文投稿不正にかんするあんな大事件が起こるまえのお話です。いわば、近未来ならぬ近過去 S.F。

• 本稿の内容は徹頭徹尾フィクションです。いかにほんとうっぽく書いてあろうとも、まずは疑ってかかることが肝要です。